

教科・科目	地理歴史・地理総合	単位数	2 単位	学年・学級	1 年必修
使用教科書	『地理総合 世界に学び地域へつなぐ』（二宮書店） 『詳解現代地図 最新版』（二宮書店）		副教材	『地理総合ワークブック』（二宮書店） 『詳説地理資料 COMPLETE 2023』（帝国書院）	

学校教育目標		郷土を愛し　たくましく生きよう　自ら学ぶ意欲を　持ち続けよう											
育成を目指す資質・能力		傾聴力		○	協働力		○	議論する力		○			
		自省力			理解力		○	批判力		○			
		自己実現力			表現力		○	情報活用力		◎			
学習の到達目標		社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。											
		(1)　地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。											
		(2)　地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。											
		(3)　地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して 涵 かん 養される日本国 民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。											
評価の観点		①　知識・技能			②　思考・判断・表現			③　主体的に学習に取り組む態度					
A 活用できる		地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。			地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を使って、表現することができる。			地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して 涵 かん 養される日本国 民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めている。					
B わかる・できる		地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けている。			地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を使って、表現することができる。			地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、考察や深い理解を通して 涵 かん 養される日本国 民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めている。					
C 努力を要する		地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するのに努力を要する。			地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、構想したりする力や、議論したりする力を使って、表現するのに努力を要する。			地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究、解決しようとする態度を養うとともに、考察や理解を通して 涵 かん 養される日本国 民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めるのに努力を要する。					
具体的な改善方法		・単元テストで7割以上 ・考查対策課題への取組			・評価問題（パフォーマンス課題）への取組 ・ワークシート課題学習			・ワークシート課題学習 ・授業アンケートへの取組					
評価基準 (各10段階)		A	10	～	8	A	10	～	8	A	10	～	8
		B	7	～	3	B	7	～	3	B	7	～	3
		C	2	～	1	C	2	～	1	C	2	～	1
		評価の方法			評価の方法			評価の方法					
		・単元テスト			・レポート、プレゼン等			・ワークシート					
		・定期考查			・ワークシート			・授業アンケート					
		・レポート、プレゼン等			・評価問題（パフォーマンス課題）								

【学習計画】

月	単元	学習の目標	評価の観点	評価の方法	自己評価	実際評価
			① ② ③			
4	ガイダンス	1年間の学習内容、シラバスの活用方法について理解する。				
5	1章 地図とGISの活用 1節 球面上の世界 2節 日本の位置と領域 3節 国内や国家間の結びつき	地図の読解などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付き、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。また、地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的技能を身に付けている。 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現することができる。また、地図や地理情報システムについて、位置や範囲などに着目して地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 現代世界の地域構成に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどのあり方について考察しようとしている。また、地図や地理情報システムに対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、目的や用途、適切な活用の仕方などのあり方について考察しようとしている。	○ ○ ○	単元テスト レポート、プレゼン等 ワークシート 評価問題		
	【前期中間査考】		○	定期査考		
6	4節 暮らしのなかの地図とGIS	地図の読解などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付き、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。また、地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的技能を身に付けている。 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○ ○			

		視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現することができる。また、地図や地理情報システムについて、位置や範囲などに着目して地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 現代世界の地域構成に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどのあり方について考察しようとしている。また、地図や地理情報システムに対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、目的や用途、適切な活用の仕方などのあり方について考察しようとしている。	○			
7	2章 地理的環境の特色 1節 地形と生活文化	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、人々の生活文化のあり方について考察しようとしている。	○	○	単元テスト レポート、プレゼン等 ワークシート	
8	2節 気候と生活文化 3節 産業と生活文化 4節 宗教・言語と生活文化	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、人々の生活文化のあり方について考察しようとしている。	○	○	単元テスト レポート、プレゼン等 ワークシート	
	【前期期末考査】		○		定期考査	
		🔄 振り返り		○	授業アンケート	
9	3章 世界各地の生活文化 1節 経済発展と生活文化の変化 2節 宗教の多様性と生活文化 3節 水の恵みと生活文化	世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、自他の文化のあり方について考察しようとしている。	○	○		
10	4節 イスラム社会の多様性と生活文化 5節 多様な気候と生活文化 6節 経済統合による生活文化の変化 7節 寒冷な気候と生活文化	※第3・5・7節（自然に着目する事例）から1つを実施。 ※第2・4節（社会に着目する事例）から1つを実施。 ※第1・6・8節（経済に着目する事例）から1つを実施。 ※第9・10節（開発に着目する事例）から1つを実施。			単元テスト レポート、プレゼン等 ワークシート	
11	8節 グローバル化による生活文化の変化 9節 土地の開発による生活文化の形成 10節 植民と移民による生活文化の形成					
	【後期中間考査】		○		定期考査	
12	4章 地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題 3節 人口・食料問題 4節 居住・都市問題	世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などを理解しており、さらに、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解している。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決方法の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、各地で共通する傾向性や課題相互の関連性、持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力のあり方について考察しようとしている。	○	○	単元テスト レポート、プレゼン等 ワークシート 評価問題	
	【後期期末考査】		○		定期考査	
		🔄 振り返り		○	授業アンケート	
13	5章 生活圏の諸課題 1 日本の自然災害と防災	我が国をはじめとする世界で見られる自然災害や生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。また、様々な自然災害に対応したハザードマップや各種地図情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技術を身に付けている。 地域性を踏まえた防災について、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 我が国をはじめとする世界で見られる自然災害や生活圏で見られる自然災害に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性、様々な自然災害に対応したハザードマップや各種地図情報のあり方について考察しようとしている。	○	○	単元テスト レポート、プレゼン等 ワークシート 評価問題	
	3 生活圏の諸課題と地域調査	生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する方法などについて理解している。 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 生活圏の地理的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりのあり方について考察しようとしている。	○	○	単元テスト レポート、プレゼン等 ワークシート 評価問題	

🔄 最終評価（自己評価／実際評価）

① 知識・理解	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度